



高速しが

令和2年
9月号

発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

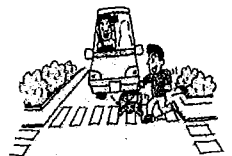
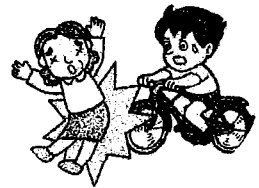
秋の全国交通安全運動が始まります!

運動の期間

9月21日(月)から9月30日(水)までの10日間

運動の重点

- ① 子供を始めとする歩行者の安全と自転車の安全利用の確保
 - ・サービスエリア・パーキングエリア内では、車の間や施設からの子どもや歩行者の飛び出しに注意し徐行しましょう。
 - ・自転車も「車両」です。交通ルールを守って運転し、万が一に備えて自転車保険に加入しましょう。
- ② 高齢運転者等の安全運転の励行
 - ・積極的に講習会や適性検査をうけましょう。
 - ・運転に自信が持てなくなったら「免許証返納」も考えましょう。
- ③ 夕暮れ時と夜間の交通事故防止と飲酒運転等の危険運転の防止
 - ・夕暮れ時と夜間は、反射材の活用、明るい色の服を着用しましょう。
 - ・自動車・自転車は、薄暗くなったら早めに前照灯を点灯しましょう。
 - ・コロナ禍で宅飲みが多くなっていますが、気が緩み深酒や夜遅くまで飲酒しないようにしましょう。酔いが醒めたつもりでも、飲酒の影響が続いていることがあります。
- ④ 横断歩道利用者ファースト運動の推進(滋賀県重点)
 - ・運転者は「横断歩道は歩行者優先」であることを再認識しましょう。
 - ・歩行者は道路を横断する時は、必ず横断歩道を利用し左右の安全確認と車が停車してから横断を始めましょう。



運動期間中、高速道路交通警察隊では

重大事故に直結する悪質・危険性のある速度超過、あおり運転、車間距離不保持、シートベルト非着用、携帯電話使用等の違反を重点とした交通指導取締りを強化します。

集中豪雨にご注意を！！

近年突然の局地的な豪雨いわゆる「ゲリラ豪雨」が各地で発生しています。これまでに経験したことのない大雨が、土砂崩れや洪水等を引き起こし甚大な被害をもたらします。山間部を通過する高速道路では、ラジオ放送や地域情報に注意し、警報等が発信された時は直近のPA・SA等の安全な場所へ早期に避難しましょう。台風シーズンも重なり自然災害への対策に心がけてください。



降雨時の注意事項

◆ タイヤの状態をチェック

タイヤが摩耗し溝が浅くなった状態での高速走行は、単純なスリップだけでなく、大雨の時や水たまりを通過する時などに、タイヤの溝が路面の水を排出しきれず水上を滑走する状態（ハイドロプレーニング現象）に陥り、ハンドル操作は勿論、ブレーキも効かない非常に危険な状況を引き起こす可能性が高くなってしまいます。



◆ 速度は控えめに保つ

雨で濡れた路面は、乾燥路面と比べ摩擦係数が低下します。特に高速走行時には制動距離が確実に長くなるほか、カーブ地点でのタイヤのグリップ力も低下することから雨天時には、晴天時よりも速度を控え、車間距離も長めにとりましょう。

◆ 急ハンドル、急ブレーキは厳禁

雨が降って路面が濡れると、タイヤと路面との摩擦力が低下し非常に滑りやすくなります。雨の日の急ハンドルや急ブレーキは事故に直結する危険な行為であることを理解しておきましょう。



◆ 小雨でもワイパーは作動させる

高速道路では、小雨であっても先行車両や追い越し車両による突然の大きな水しぶきで、一瞬視界を奪われる危険性があります。特に先行、追い越しの大型車両の水しぶきには注意し、ワイパーは必ず作動させましょう。

また、ウォッシュ液の量を運行前に確認しておきましょう。

